

コースコード：CI-ENCORBC

税込価格：580,800円 (税抜価格：528,000円)

日数：8日間

トレーニング内容

中規模や大規模なネットワークを設定するために必要なコア技術を学習します。具体的には企業の有線および無線LANの設定、トラブルシューティング、および管理技術を学習します。また、企業ネットワークのセキュリティ原則の理解について説明します。

最近のネットワークは各種のオーケストレーションツールやプログラムからの実装が必要です。本トレーニングではSD-AccessやSD-WANソリューションを使用して、オーバーレイネットワークを構成する方法や、自動化とプログラマビリティについても学習します。

ここに注目!!

ENCORトレーニングを自習項目部分まで講師が研修でサポートする、認定資格の取得を目指す充実した8日間のトレーニングです。

開始日から5日間と終了日までの3日間に分割して実施されます。日程にご注意ください。
最終日は14:00で講義終了、解散となります。

このトレーニングは、Cisco認定試験 350-401 ENCOR (Enterprise Core)試験に対応しています。
350-401 ENCOR試験に合格することで、以下の状態になります。

- ・ Cisco Certified Specialist - Enterprise Core認定を取得できます。
- ・ CCIE Enterprise Infrastructure v1.0 ラボ試験、および CCIE Enterprise Wireless v1.0

ラボ試験を受験することができるようになります。

- ・ ENCOR試験に加えて1つのCCNP Enterpriseコンセンレーション試験に合格することで、CCNP Enterprise認定を取得できます。

【重要】コース参加のための必要準備があります。こちらの内容に従ってお手続きをお願いします。

Ciscoサイトへのアカウント登録：

本コースで利用する電子テキストの閲覧には、Cisco社へ登録したシスコアカウントを使用します。
アカウントがない場合、コース当日にテキストをご覧いただくことが出来ません。

アカウントをお持ちでない方は、以下を参考に受講時までにご用意ください。

[シスコ関連コースへ参加される方へのお願い\(トレノケート株式会社様ページ\)](#)

- ・ オンライン参加の場合、テキスト閲覧と演習環境アクセスにGoogle Chromeブラウザが必要となります。
- ・ 本トレーニングの受講証明書は、シスコ社より発行されます(発行基準 100%の出席)。
- ・ 本トレーニングにはトレノケート株式会社が独自作成した各種資料が付属します。

ワンポイントアドバイス



本コースはCisco認定試験 350-401 ENCOR (Enterprise Core)試験 に対応しています。350-401 ENCOR試験に合格することで、以下ようになります。

- ・ Cisco Certified Specialist - Enterprise Core認定を取得できます。
- ・ CCIE Enterprise Infrastructure v1.0 ラボ試験、および CCIE Enterprise Wireless v1.0 ラボ試験を受験することができるようになります。
- ・ ENCOR試験に加えて1つのCCNP Enterpriseコンセンレーション試験に合格することで、CCNP Enterprise認定を取得できます。

このコースは、開始日から5日間と終了日までの3日間に分割して実施されます。日程にご注意ください。

最終日は14:00で講義終了、解散となります。

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

- ・ エンタープライズ ネットワーク エンジニア
- ・ ネットワーク エンジニア
- ・ システム エンジニア
- ・ ネットワーク運用者
- ・ システム運用者
- ・ 大規模LANを構築、サポートするネットワーク管理者
- ・ CCNAを取得された方で、最新のネットワーク設計について学びたい方
- ・ CCNP Enterprise認定取得を計画されている方
- ・ CCIE Enterprise Infrastructure/Wireless認定取得を計画されている方

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

CCNA (200-301) を取得済みの方、または下記ネットワークに関しての知識を有している方

- ・ ネットワークの基本と簡単なLANの構築
- ・ 基本的なIPアドレスとサブネット
- ・ ルーティングとレイヤ2スイッチングの動作
- ・ 基本的な無線LANの概要と用語

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・ エンタープライズの有線およびワイヤレスネットワークの設定、トラブルシューティング、および管理に必要なコアとなるネットワークングスキルを修得する
- ・ エンタープライズ ネットワーク内のセキュリティ原則を理解して実装することができる
- ・ SD-AccessやSD-WANなどのソリューションを使用して、ネットワーク設計においてオーバーレイする方法を理解する
- ・ エンタープライズネットワークの自動化とプログラマビリティについて理解する

アウトライン

学習内容

(*自習) はシスコ標準トレーニングでは説明しない部分ですが、本トレーニングでは講師が説明し、問題集を使って復習します。



シスコエンタープライズネットワークアーキテクチャについて

シスコのスイッチングパスについて

キャンパス LAN 接続の実装

冗長スイッチドトポロジの構築

EIGRP について

OSPF の実装

OSPF の最適化

EBGP の詳細

ネットワークの冗長性の実装

NAT の実装

仮想化プロトコルと仮想化技術の概要

仮想プライベートネットワークおよびインターフェイスについて

ワイヤレスの原理について

ワイヤレス展開オプションについて

ワイヤレスローミングおよびロケーションサービスについて

ワイヤレス AP オペレーションについて

ワイヤレスクライアント認証について

ワイヤレスクライアント接続に関するトラブルシューティング

ネットワークサービスの導入

ネットワーク分析ツールの使用

インフラストラクチャセキュリティの実装

セキュアなアクセス制御の実装

Python プログラミングの基本について

ネットワークプログラマビリティプロトコルの概要

レイヤ 2 ポート集約の実装 (*自習)

マルチキャストプロトコルの概要 (*自習)

QoS の概要 (*自習)

エンタープライズネットワークのセキュリティアーキテクチャについて (*自習)



Cisco DNA Center による自動化とアシュアランスの説明 (*自習)

Cisco SD-Access ソリューションについて (*自習)

Cisco SD-WANソリューションの動作原理について (*自習)

Cisco DNA Center と vManage の API の概要 (*自習)

演習/デモ内容

シスコ社が提供するリモートラボを使用

CAM の調査

Cisco Express Forwarding の分析

VLAN とトランクの問題のトラブルシューティング

STP の調整と RSTP の設定

マルチスパンニングツリープロトコルの設定

マルチエリア OSPF の実装

OSPF の調整

OSPF 最適化の適用

OSPFv3 の実装

シングルホーム EBGp の設定と確認

HSRPの実装

VRRP の設定

NAT の導入

VRF の設定と確認

GRE トンネルの設定と確認

スタティック VTI ポイントツーポイント トンネルの設定

集中型の展開でワイヤレス クライアント認証を設定する

ワイヤレス クライアント接続に関する問題のトラブルシューティング

Syslog の設定

Flexible NetFlow の設定と確認

Cisco IOS EEM を設定します

ping、traceroute、および debug



による接続のトラブルシューティングとトラフィックの分析

Cisco IP SLA の設定と確認

標準および拡張 ACL の設定

コントロールプレーン ポリシングの設定

ローカルおよびサーバーベースの AAA の実装

Python スクリプトの記述とトラブルシューティング

Python での JSON オブジェクトおよびスクリプトの詳細

SSH 経由での NETCONF の使用

Cisco IOS XE ソフトウェアでの RESTCONF の使用

EtherChannel のトラブルシューティング (*自習)

学習内容は予告なく変更される場合があります